■引越しの荷造りをスムーズに進めるコツ■

引っ越しの中で一番大変な作業といえば、なんと言っても「荷造り」だと思います。
引越しの荷造りをスムーズに進めるため、以下のポイントを押さえましょう。

POINT① 使うものと使わないものに分ける

引越しの荷造りで最初にやるべきことは、自宅のあるものを引越し以降も「使うもの」と「使わないもの」に分けることです。自宅にあるものを一通りチェックして、全く使っていないものや今後使わないもの、壊れているものや買い替えを予定しているものを不用品と分類します。

POINT② 荷物をグループごとに分ける

引越し先に運ぶ荷物は、グループごとに分けることが鉄則です。
グループ分けは、最初にリビング、寝室、キッチン、お風呂など部屋ごとに分けます。
その上で本、衣類、食器、家電、家具など荷物の種類によって段ボールを分けることで、引越し先での荷解きがスムーズになります。

もう一つ重要なことが、割れ物には割れ物だけでまとめることです。食器や鏡、ワインや瓶に入った調味料などは丁寧に梱包したうえで段ボールに「ワレモノ注意」「取扱注意」と書いたり目立つようにシールを貼るようにしましょう。

POINT③ 使う予定がないものから荷づくりする

引越し準備を効率的に進めるためには、早めに荷づくりを進めることが重要です。引越し日までに使う予定がないものは、どんどん段ボールに詰めていきましょう。早い段階で荷づくりができるものとしては、以下のようなものが挙げられます。

- **オフシーズンのアイテム(今の季節に使用しない衣類や寝具、暖房器具や扇風機など)**
- **ストックしている日用品・食品(洗剤、柔軟剤、歯磨き粉、お米など)**
- **使っていない趣味のアイテム**
- **書籍やDVD**
- **アルバムなどの記念品**



POINT④ 使う可能性のあるものは段ボールに封をしない

引越し当日までに使うかもしれないと思うものも、一応段ボールに詰めておきましょう。
(段ボールのふたは開けておきましょう)

POINT⑤ 引越し当日に残りの荷物を段ボールに詰める

引越し当日、最後に詰める段ボールを用意しておきましょう。忘れ物などが急に出てくる場合もあるのでサイズ感に余裕を持たせておきましょう。

■荷造りに必要なもの■

POINTを押さえた後は、実際に荷づくりを始めるための準備をしましょう。
梱包に必要な基本的な資材は、以下の通りです。

＊ダンボール
様々なサイズの荷物があるので、サイズの違う段ボールを用意しておくと便利です。
＊緩衝材
いわゆる「プチプチ(エアーキャップ)」が一般的ですが、新聞紙やタオル、カットした段ボールなど他にも様々なタイプの緩衝材があります。
＊布団袋
布団のお荷物がある方は、布団圧縮袋があると便利です。布団類をまとめて運搬できるほか場所も取らなくなりますので、より多くの荷物を積むことが可能になります。
＊ハンガーボックス
衣類をハンガーにかけたままの状態で持ち運びできるボックスです。ワイシャツやブラウス、ワンピースやコートなど、たたみジワを付けたくない衣類を運ぶ際に便利です。
＊ガムテープ／養生テープ
荷物を段ボールに梱包するときに使います。段ボールの量に合わせて少し多めに＆色違いを用意し「すぐに使うものは赤」「後回しでいい段ボールは茶色」などと使い分けることもできます。ガムテープよりも粘着度の低い養生テープは簡単に手で切れるのが特徴で、木製家具の扉や衣装ケース、引き出しなどを押さえるときに便利です。
＊カッター、ハサミ
緩衝材やテープなどをカットする際や、段ボールの荷解きの際に使用します。カッターでの開梱の際は、お荷物を傷つけないよう十分注意してお使いください。
＊工具類
ドライバーや六角レンチなどの工具類は、家具の分解や組み立てなどに必須です。
＊ビニール紐
液体の入ったものを梱包する際や家具を解体する際に出るビスを保管する際に便利です。
＊油性マーカー
段ボールの中身を記したり、新居のどこで使うかなどを記入することで荷解き時に役立ちます。割れ物や特に注意が必要な物を詰めたお荷物には、目立つ色のマジックで「ワレモノ注意」などと記しておきましょう。
＊軍手、作業用手袋
段ボールのを組み立てたり、運んだり、家具を解体する際にあると便利です。
＊ゴミ袋
荷づくりをすると必ずゴミが出るので、ゴミ袋は必須です。

■荷づくりのちょこっとテクニック■

＊ダンボールは天地を守り、底をガムテープで十字にする

組み立てるときは、必ず底のガムテープを十字に組んで貼り、底抜けを防止することが大切です。

＊ダンボールひとつあたりの重さは「一人で持てる重さ」まで

荷造りの際のコツとして、ダンボールに詰める荷物の量は、「一人で持てる重さ」が基本と覚えておきましょう。

例えば書籍や雑誌、金物などの重いものは、小さなダンボールに入れるのがおすすめです。

＊重たいものを下に軽いものは上に詰める

本や食器などの重たいものは段ボール箱の下のほうに、衣類やタオルなどは段ボールの上のほうに

詰めます。また、箱を積上げる際も重い段ボールは下にします。

＊梱包の一例＊　ご参考にされてください　☺☺☺

・割れ物（食器、花瓶など）

緩衝材で1つずつ包むようにします。食器は床と平行に入れるのではなく
垂直方向に立てて入れると破損を防ぎやすいです。

・衣類

大きめの段ボールに詰めます。シワを避けたいものは、ハンガーボックスをレンタルしてそこに入れましょう。

・刃物類

包丁やハサミなどは新聞紙か段ボールを二つ折りにしたもので刃を包み、ガムテープなどで抜け落ちないよう

補強しましょう。

・鍋やフライパン

大きめの段ボールに緩衝材を重ねて入れましょう。隙間にも緩衝材を入れ段ボールの中で動かないように固定します。

・シャンプーや化粧水、調味料など液体類

中身が出てこないよう口をテープやラップで包んで固定します。漏れが不安な場合はジッパーバッグやビニール袋に入れておきましょう。

・引き出しのあるタンスやラック類

引き出しが飛び出さないように養生テープで固定します。中身は軽いものでスト入れたままでよい場合もあるので、事前に引越し業者に確認しておきましょう。念のため貴重品や壊れやすい物は取り出し別途管理するのがおすすめです。

・冷蔵庫、洗濯機

前日に水抜きをしておきます。コード類はテープで固定したり、中に入れたりして運搬の邪魔にならないようにしておきます。

・スプレー類

破損の恐れもあるため処分するのが安心です。どうしても持っていきたい場合はしっかりと蓋をして手荷物に入れるのがおすすめです。

・書籍

本のサイズごとに分けて梱包しましょう。ダンボールに入れるときは、大きいものを先に平積みで入れます。
上にくるほど本が小さくなるので、上から緩衝材を入れて本が動かないようにしましょう。
底が抜けないよう、小さめのダンボールに入れるのがおすすめです

■荷造り中の部屋でも快適に過ごすためのひと工夫■

荷造りが進むと、部屋に段ボールも増えていきます。段ボールを置くスペースに余裕がない場合は
押し入れの中の荷物を先に梱包し押し入れの中に段ボールを積み上げておきましょう。
押し入れからあふれてしまったら、普段の生活でなるべく通らない場所に荷物を置くなど生活に支障が出ない工夫を！

■お引越し当日■

＊お引越し完了後、積み忘れたお荷物がないか引越業者さんと必ず確認を行ってください。

＊心地よい新生活をスタートさせるためには、引越し日は時間に余裕のある日にちを選び荷解きも出来るだけ早めに行うことをおススメします。

■引越後の片づけを効率的に行うPOINT■

①大型家具の配置を決めておく

ベッドやソファー、テーブルなど大型家具の配置を事前に決めておきましょう。そうすることで
その他の家具や荷物を置くスペースが限定され、整理しやすくなります。

②段ボールの中身がわかるようにしておく

荷造りの際、段ボールの中身がわかるように天面や側面にメモをしておきましょう。
引越し先では、段ボールのメモを確認しながら、すぐに使うものや使用頻度の高いものから
優先的に荷ほどきをしていきます。

③収納アイテムを活用する

収納ボックスやラックなどの収納アイテムがあると、引越し先での整理整頓がスムーズに進みます。

引越しの荷造りは、余裕を持ったスケジュールで始めることが大切です。
大変な作業ではありますが、ツールを揃え、順序を考え、テクニックを使えば意外と
スムーズに荷づくりできます。
引越し当日、慌てることのないよう、まずはしっかりと準備しておきましょう。

少しでもお客様のご参考にしていただければ幸いです☺

引越しのことの関しまして、何かわからない点がございましたら当社へ
お気軽にご相談ください☺